

平成 20 年 3 月定例会 一般質問一覧表

発言 順位	通 告 者	項 目 及 び 要 旨
1	三 谷 實	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 限界集落といわれる中での今後の市政のありようについて市長の考えを問う</p> <p>(2) 道路等の特定財源について 当市における特定財源化について</p> <p>(3) 平成 20 年度予算について 主要施策について問う</p> <p>(4) 成羽病院改築問題について 執行部の進め方について問う 議会サイドの提言をどう扱ってきたのか</p>
2	大 月 健 一	<p>1 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>(1) 地方再生戦略 「自立への覚悟」を問う</p> <p>(2) 新型インフルエンザについて 新型インフルエンザが感染して大流行したら医療機関が困難になる。対策を考えているのか 市民は新型インフルエンザについて理解ができていますか</p> <p>(3) 学校の危機管理について 本市学校の警備会社での管理の進展について 学校給食食材の管理はできているか 登下校の自転車指導、遊具の管理点検はできているか</p> <p>(4) IT、光ファイバー（ケーブル） 携帯電話による防災通報について 光ファイバーについて</p>
3	山 縣 喜 義	<p>1 成羽病院改築について</p> <p>(1) 平成 19 年度当初予算の成羽病院改築実施設計費を凍結したが、国の指針が示されてどのように変わったのか</p> <p>(2) 国の指針が示されてからの議会对応は適切にできているのか</p> <p>2 行財政改革について</p> <p>(1) 職員の適正数、適正化はどうか。また定数条例との整合性は</p>

		<p>(2) 現状では、インソーシングができる部分があるのでは</p> <p>(3) 卒業式、入学式等の礼状の廃止をしてはどうか (特に議員等への)</p> <p>(4) 死亡届を受けてのプレス発表は土、日曜日でも行うべきではないか。また、市長、議長の弔文の取り扱いについて</p>
4	小林重樹	<p>1 産・官・学連携による吉備国際大学との関係と学生支援について</p> <p>(1) 高梁商工会議所が「学園文化都市づくり」の一貫として今年より始めた学生支援である「学生協力会」と当市との関わりについて、どのような考えを持っているのか</p> <p>2 新たな市民交通体系の再構築について</p> <p>(1) 岡山県のバス路線補助の廃止及び見直しにより、市民、特に高齢者の足である路線バスの路線維持が困難とみられている。そこで、当市も医療バス、ふれあいタクシー等、市民の足として運行しているが、もう一度、包括的な意味で交通体系の再編を迫られているが、市としてこれからどのように取り組んでいくのか</p> <p>3 成羽病院の改築について</p> <p>(1) このたび、総務省の示した公立病院改革ガイドラインに関わって、今後の市立成羽病院改築の進め方について、市長の見解を問う</p>
5	宮田公人	<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) ローリング後の高梁市総合計画実施計画(平成19年度～21年度)と合併当初のまちづくり計画、過疎計画を比較した場合、各年度(平成19年度～21年度)において金額ベースでどれくらいの事業圧縮がなされているのか。年度別金額の比較、圧縮率等の資料の提示を求める</p> <p>(2) 高梁市行財政改革大綱実施計画において、市の計画策定に対する市民意識を反映させるためにパブリックコメントを求めるとあるが、いつどのような形で実施するのか</p> <p>(3) 事業評価システムの導入スケジュールは平成19年度となっているが平成20年度には導入、実施できるのか</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 現在高梁市内の小学校において児童数が10名を切る学校が4校存在するが、こうした少人数校の今後のあり方を教育委員会はどのように考えているのか</p> <p>3 地域医療のあり方と市立病院について</p> <p>(1) 現在、高梁市保健医療計画策定委員会において高梁市版</p>

		<p>の保健医療計画のあり方が議論されているが、本来こうした全市的な医療・保健システムの見極めを行った上で市立病院のあり方を考えるのが妥当な方法ではないか</p> <p>(2) 旧美星町と成羽町は面積・人口規模が似通っているが、美星町においては19床の有床診療所と老健施設の併設により地域医療をサポートしている。市立病院の将来展望においては、こうした身近な自治体の現状についても勘案すべきではないか</p> <p>(3) 合併以来、市立病院の改築については、当初の49億円・136床での改築案から、国の医療制度改革のあおりを受け、30億円・92床へのダウンサイジング、さらには「公立病院改革ガイドライン」による合併特例債起債申請の取り下げと事業凍結など、執行部の度重なる方針転換により、市民に対し、いまだ明確な病院像は示されていない。こうした現状で市立病院の改築を進めることが市民利益につながることは到底考えがたい。もう一度これまでの経緯、経過を踏まえ、医療に対する市民ニーズとそれに見合う持続可能な市立病院のあり方を再検討すべきではないか</p> <p>(4) 本市は厳しい行財政改革の途上にあるが、市立病院の改築についても改築にかかるコストにとどまらず、改築後のランニングコスト等、計数的観点から将来を見据えた検討を加えるべきではないか</p>
6	川上博司	<p>1 寄付条例について</p> <p>(1) 自主財源を確保するため、ふるさと納税へ対応して寄付投票条例を制定すること</p> <p>2 地域産業おこしで雇用創出を</p> <p>(1) 「企業立地促進法」、「地域資源活用促進法」、「農商工等連携法案」に対応して、地域産業をおこし、若者と高齢者の雇用を確保すること</p> <p>3 歴史的風致の維持及び向上について</p> <p>(1) 「歴史まちづくり法案」へ対応し、国の認定を受けて、まちなみの再生、建造物の復原等に取り組むこと</p> <p>4 鳥獣被害防止対策について</p> <p>(1) 鳥獣被害防止特措法の制定を受けて、市として被害防止計画を策定すること</p> <p>5 学校支援ボランティア活動事業について</p> <p>(1) 「学校支援地域本部事業」に対応し、中学校区単位にボランティア本部を設置すること</p>

7	田 島 肇	<p>1 庁舎建設を今後どう位置づけていくのか</p> <p>(1) 合併から4年、厳しい財政状況の中、仮庁舎、教育委員会等が点在する職場をいつまで引きずっていくのか。また、合併特例債の期限も迫ってくる中、今後の見通しをどう持たれているのか</p> <p>2 火災警報器等の設置義務に伴う悪徳商法対策について</p> <p>(1) 消防法及び市町村条例により設置が義務づけられた火災警報器の設置期限は平成23年6月ということになっている。そういう中、社会的弱者やお年寄りを中心に悪徳訪問販売業者が進入してくることが予測されますが、行政としての対応策をどう持っておられるのか</p> <p>3 水道料金納付組合奨励金交付制度終了に伴う料金徴収対策</p> <p>(1) 組合解散後の納付手続きについて</p> <p>(2) 未収金発生の見通しと徴収体制について</p>
8	三 上 孝 子	<p>1 市民にしわよせをする「行財政改革」について</p> <p>(1) 国がすすめる「構造改革」と自治体と市民の暮らしについて - 国の大借金を地方に押しつける -</p> <p>合併によって市民サービスは後退、地域局の充実、機能を高めることを今こそ求める</p> <p>備中地域の学校給食は自校給食を守ること</p> <p>各町内会の自主性を尊重し、運営の充実、支援を図ること</p> <p>ごみ収集の有料化業務の民間委託は中止し、分別収集の徹底をし、環境にやさしい循環型へ切り替えること</p> <p>市立松山・宇治高校を一校に統合せず、それぞれの特性を生かし存続させること</p> <p>市立保育園の民間委託は行わないこと</p> <p>自立への支援等を口実にした国の福祉切りすてをすすめる「扶助費見直し」を許さず、「福祉の心」を持ち、支援、サービスの充実を行うこと</p> <p>上記7項目と新年度予算とのかかわりについて</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 学童保育の充実について</p> <p>待機児童をなくすこと</p> <p>規模の大きい場合は分割をすること</p> <p>専用の保育室を確保すること</p> <p>直営、運営委託にかかわらず、施設整備の予算を拡充すること</p> <p>指導員の待遇改善及び複数の指導員の配置をすること</p>

9	井上英男	<p>1 高梁市情報化計画について</p> <p>(1) 防災行政無線について  オフトーク、なりわビジョン、防災行政無線施設、アナログ仕様及びデジタル仕様等を順次移行し統一していくとしているが、移行計画書の提出、全市の整備計画策定について聞く</p> <p>(2) 消防無線デジタル化について、平成20年度～平成27年度整備予定とされているが、消防本部統合との関わりについては。また、救急用の専用周波数はなぜ設けていないのか</p> <p>(3) ケーブルテレビ網の構築は、整備方針で示す4項目についてチャンネルの確保及び時間帯は取れるのか(公的な番組として)</p> <p>(4) 最小の経費で最大の効果をねらっているが、概算整備費12億円～18億円の整備方法6種と金額の根拠を聞く</p> <p>(5) 地デジ対応ができるように放送局等が各地に対処しているが、今回の整備は、それとの関係はどのように判断しているのか</p> <p>(6) なりわビジョン建設の補助金とその制約は解消されるのか。また対応は</p> <p>(7) 加入しやすく利用しやすい利用料金設定と言っているがCATV事業者が定める額から4～5割以上の減額を求めるとしているが、すでに下相談は一定程度できてのことなのか。また、利用料金についてもである</p> <p>(8) 上記(7)で未整備地区の川上・備中の加入促進が図られるのか(関連事項も含んで)</p> <p>(9) 民間事業者もしくは第三セクターのCATV事業者へ、IRU契約するとしているが、どの程度話し合いができているのか。また、市としてはどちらを優先するのか。その基準等はなにか</p> <p>2 後期高齢者医療制度について</p> <p>(1) 平成20年4月から後期高齢者医療制度が発足します。  市の広報紙等で市民への周知もされてきていますが、当初からは内容も変わり、理解しにくい制度でもあります。岡山県後期高齢者医療広域連合で最終決定し、実施されようとしています  広域連合と市の関係について(仕組みを含む)  国保や他の保険との関係について  市内、75歳以上の人口、65歳～74歳までの人口、それ以外の人口</p>
---	------	--

		<p>保険料の決定経過について          保険料の負担軽減について          保険料の減免について（特別減額措置の導入は）          見直しは2年となるのか、1年では見直しはできないのか          被扶養者の取り扱いについて</p>
10	田中 広二	<p>1 地域づくり基金について          (1) 10年の時限と基金の精神を尊重する方策を問う</p> <p>2 宇治高校の社会的役割について          (1) 特別支援を要する高校生をどのように認識されるのか          平成18年11月、高梁市立高等学校教育体制等検討委員会答申後の市民合意はどのように図られたか</p> <p>3 市道管理、積雪対策について          (1) 辺地市道の積雪対策と対応について</p> <p>4 高梁駅バリアフリー化と橋上駅構想について          (1) 都市整備のランドデザインと過去の整備との整合性について</p>
11	川上 修一	<p>1 川上・備中地域のケーブルテレビの整備について          (1) 市民に選択のできる説明をするべきではないか</p> <p>2 バス路線の整備について          (1) 旧川上郡の福祉バスを一律統合はできたが、定期バスとの連絡ができていない。このことについてどのようにするのか</p> <p>3 県道新見川上線について          (1) 県道新見川上線の整備が遅れているが、市の考え方は</p> <p>4 町内会の統合について          (1) 行革の計画にも挙げられているが、早急に実施してもらわないと地域は機能をなくしている。いつ頃までにできるのか</p> <p>5 官と民の区別ができていないのではないかと          (1) 行政がすべきこと、してはいけないことの線引きができていないのでは</p>
12	妹尾 直言	<p>1 川上診療所の入院業務の再開について          (1) 地域医療の中で川上診療所をどのように位置づけているのか          (2) 行政としてどのように取り組んでいくのか</p> <p>2 限界集落問題への取り組みについて          (1) 高梁市において具体的な調査はできているのか          (2) 具体的な聞き取り調査を行っていくのか</p>

		<p>(3) 対策の手段として市営住宅の無料貸与を考えてはどうか</p> <p>3 市立高校の再編問題について</p> <p>(1) 現状の宇治高校と松山高校をどのように把握され、認識されているのか</p> <p>(2) 宇治高校と松山高校を再編統合して、「魅力ある市立高校を目指す」ことの具体的なものは何なのか</p> <p>(3) 夜間高校としての市立松山高校は県立城南高校の夜間部としての方向を目指してはどうか</p>
--	--	--